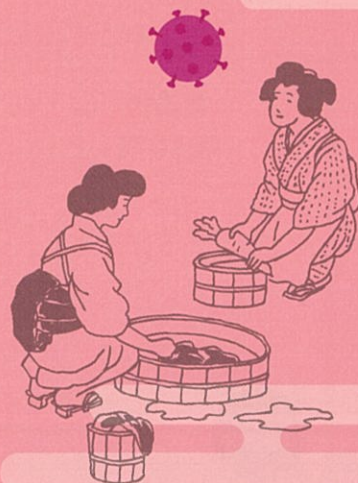
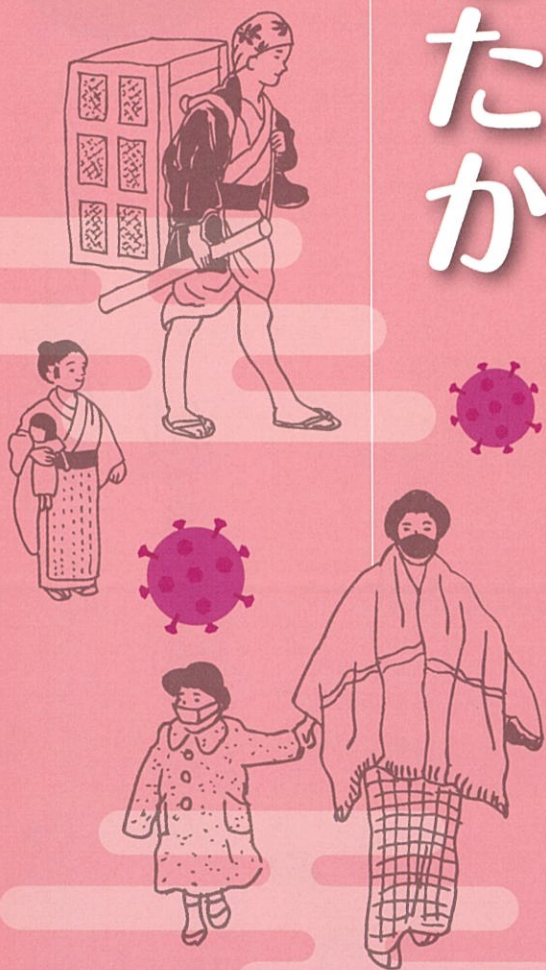


# きたか どう乗り越えて 人々は疫病を



会場 **遊学館 ホール**  
(山形市緑町1-2-36)

日時 令和3年1月31日(日)・2月28日(日) 全2回  
開演/13:30~15:30 受付・開場/12:50

第1回 **1/31**(日) 疫病と向き合う —昔と今—

第2回 **2/28**(日) 疫病と向き合う —歴史と文化—

受講料 ①会場 **1,000円**(学生500円) 全2回 ※資料代込み

②オンライン **無料** ※ただし、資料の提供や、講師への質問受付は行いませんのでご了承ください。通信料はご自身の負担となります。

講座形態を  
選べます

①

**会場受講**

託児有り  
(要事前申込)

**100名**  
(先着順)

②

**オンライン  
受講**

Zoom使用  
開催予定

**100名程度**  
(先着順)

●申込方法

【氏名・〒・住所・電話番号・託児の有無・会場受講またはオンライン受講・メールアドレス(オンライン受講希望者のみ)】を明記し、はがき・FAX・メールで申し込みください。後日案内を送付します。

●申込先

〒990-0041 山形市緑町1-2-36  
山形県生涯学習センター「山形学」講座担当あて  
電話023-625-6411 FAX 023-625-6415  
E-mail : yama@gakushubunka.jp

●申込期間

令和2年12月15日(火)~  
令和3年1月23日(土)

人々は疫病を  
どう乗り越えてきたか



第1回

## 疫病と向き合う ―昔と今―

1/31 日

13:30~15:30



開講式  
館内学習

疫病という脅威に対し、どのように向き合うべきかが今重要な課題となっています。国立保健医療科学院の逢見憲一先生にスペイン風邪などを世界史的規模でご紹介いただき、人々が疫病にどのように対応したのか、公衆衛生史の観点から、山形大学医学部附属病院の森兼啓太先生に現代の感染症対策の観点からお話を伺います。

■コーディネーター

下平裕之 氏(「山形学」企画委員)

■講師

逢見憲一 氏(国立保健医療科学院 生涯健康研究部主任研究官)  
オンライン講演

森兼啓太 氏(山形大学医学部附属病院 検査部 部長・病院教授、  
感染制御部 部長、山形大学 理事特別補佐(危機管理担当))

第2回

## 疫病と向き合う ―歴史と文化―

2/28 日

13:30~15:30



館内学習  
閉講式

疫病と向き合ってきた日本人の諸相を歴史学(近代史)の視点から問い直す竹原万雄氏の講演をもとにしながら、これまで山形学の精神を創造し、理論を組み立ててきた菊地和博企画委員(民俗学)、松尾剛次企画委員(歴史学)から、コロナ禍を生きる展望を示します。

■総合司会

廣瀬隆人 氏(「山形学」企画委員)

■講師

竹原万雄 氏(東北芸術工科大学准教授)

菊地和博 氏(東北文教大学短期大学部特任教授)

松尾剛次 氏(山形大学名誉教授)



マスク着用



当日の検温



手指の消毒



一定の間隔



アプリ  
インストール

- ・会場受講の方は、当日の検温、マスク着用、定期的な手洗いや手指の消毒等のご協力をお願いします。熱や体調不良がある場合は参加を控えてください。
- ・スマートフォンをお持ちの方は、事前に新型コロナウイルス接触確認アプリ(略称:COCOA)をインストールするようにお願いいたします。
- ・会場では一定の間隔を空けて着席いただきます。
- ・状況に応じて中止の可能性もあります。その場合は申込者へ連絡するとともにHPへ掲載します。
- ・オンライン受講の方は、通信状況により映像や音声が入る場合がありますことをご了承ください。

※原則、全2回受講するものとします。

## 令和2年度「山形学」講座 申し込み

ふりがな			生年月日	大・昭・平	
氏名			年	月	日 (才)
住所	〒				男・女
電話番号	(自宅/勤務先) (携帯)	FAX番号			
メールアドレス	※オンライン希望者		託児の有無	有・無 (人) (才)	
受講形態	会場 ・ オンライン			アレルギー 有・無 [ ]	